

ほけんだより



令和5年2月
保健室

インフルエンザの流行がはじまりました

お正月からあっという間にひと月経ちました。コロナに加え、インフルエンザの流行もはじまっています。3年生は大学受験、2年生は修学旅行を控えています。

規則正しい生活と健康的な食事で、元気に冬を乗り切りましょう。

体調に異変を感じたら早めの受診を！

コロナやインフルエンザ、その他の風邪には右図のようにそれぞれ特徴的な症状があります。例えばインフルエンザは急激に38度以上の高熱が現れるのが特徴です。しかし症状の現れ方には個人差があるため検査をしてみないと正確なことはわかりません。また、「体調が悪いけど、ただの風邪だから大丈夫！」という声もちらほら聞こえますが、「風邪」と呼ばれるものも、原因はライノウイルスやアデノウイルスなどのウイルスです。コロナやインフルエンザと比較すると感染力は低いといわれていますが、咳による飛沫などで人から人へ感染します。体調に異変を感じたら早めに病院を受診しましょう。

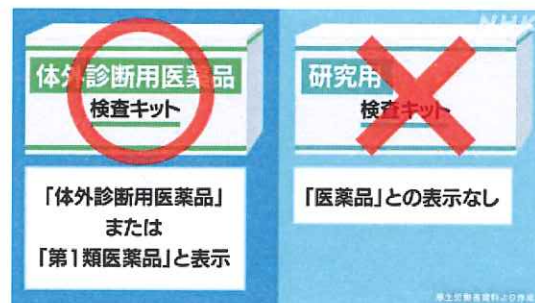
症状	新型 コロナ	かぜ	インフル エンザ
発熱	平熱 ~ 高熱	平熱 ~ 微熱	高熱
咳	◎	◎	◎
咽頭痛	○	◎	◎
息切れ	○	×	×
だるさ	○	○	◎
関節痛 筋肉痛	○	×	◎
頭痛	○	◎	◎
鼻水	△	◎	○
下痢	△	×	○
くしゃみ	×	◎	×

◎頻度高い ○よくある △時々ある ×まれ

コロナとインフルエンザの「同時検査キット」の一般販売が始まりました。

コロナの抗原検査キットに加え、コロナとインフルエンザ両方の感染を調べることのできる同時検査キットが薬局やドラッグストアで購入できるようになりました。

厚生労働省が認可している商品にはパッケージに「医薬品」の記載があります。キットを購入する際は記載内容をよく確認しましょう。



意外と身近な医療機器 「植込み型医療機器」とは？

電車のアナウンスで「優先席付近では混雑時には携帯電話の電源をお切りください」と流れているのを聞いたことがある人は多いと思います。これは一体なんのためなのか知っていますか？

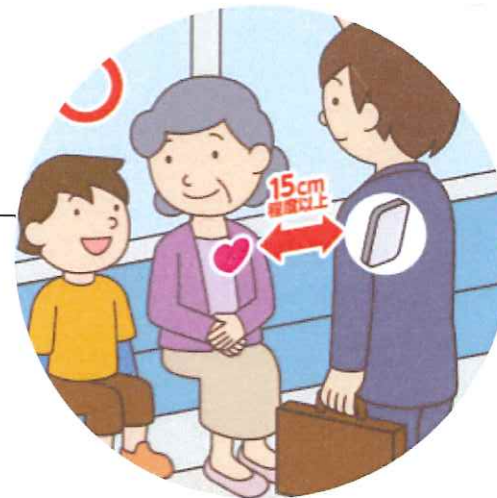
実はこれは「植込み型医療機器」を使っている人を守るためのルールなのです。植込み型医療機器の主なものとしては「ペースメーカー」、「植込み型除細動器」などがあります。どちらも電気刺激によって心臓が規則正しく拍動するようにサポートする医療機器です。胸部や腹部に電池の入った機械を埋め込み、そこからリードと呼ばれる導線が心臓につながっています。



植込み型医療機器と携帯電話の距離は「15センチ」

そしてこの植込み型医療機器は、私たちが使っている携帯電話などの電子機器が発する電波によって誤作動を起こすリスクがあります。しかしこの問題に関しては様々な実験や研究が行われており、15センチ程度離れていれば電波の影響を受ける可能性は低いことがわかっています。総務相が発表している指針にも「携帯電話端末は植込み型医療機器から15センチ離して使用すること」と示されています。

ただ、もしも自分が植込み型医療機器を使用しているとしたらどうでしょうか？「たった15センチで大丈夫かな？」と不安に思う人もいるかもしれません。みんなが気持ちよく過ごせるように、優先席付近では携帯電話の使用を控えるなどの配慮ができるとうれいですね。



飛行機で機内モードにするのも理由は同じ！

飛行機に乗るときにも携帯電話の電源を切るか機内モードに切り替えるようアナウンスがあると思います。これも理由は同じで飛行機の計器や精密機器がほかの電子機器の影響を受けないようにするためです。

2年生は修学旅行で飛行機に乗ることになります。安全なフライトのためにも決められたルールはきちんと守りましょう。

楽しい修学旅行にしてくださいね！

